

気候情報

2013年12月の日本の天候

- 東日本以西で低温、北日本で高温
- ほぼ全国的に降水量が多かった
- 沖縄・奄美では日照時間がかなり少なかった

12月の天気概況

冬型の気圧配置となる日が多かったため、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、気圧の谷や寒気の影響を受ける日が多かったため、曇りや雨の日が多く、月間日照時間がかなり少なくなった。たびたび低気圧が本州付近を通過したため、月降水量は東日本太平洋側を除き全国的に多かった。西日本を中心に寒気が流れ込んだため、月平均気温は、沖縄・奄美でかなり低く、東・西日本で低かった。一方、北海道地方は寒気の南下が平年に比べて弱かったため、月平均気温はかなり高かった。降雪の深さ月合計は、北日本日本海側のうち東北日本海側は平年並だったが、北海道日本海側ではかなり少なかった。一方、西日本日本海側では多く、東日本日本海側は平年並だった。

上旬：弱い冬型の気圧配置となる日が多かった。このため、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、太平洋側や沖縄・奄美では晴れの日が多かった。9日から10日にかけては、日本海と本州南岸沿いを低気圧がそれぞれ発達しながら東進したため、全国的に荒れた天気となり、高知県では竜巻による被害が発生した。

中旬：冬型の気圧配置となる日が多かったが、たびたび日本付近を気圧の谷が通過した。このため、北日本と東・西日本日本海側では曇りや雪または雨の日が多かった。特に旬の前半は、上空に強い寒気が入ったため、日本海側では山沿いを中心に大雪となった。一方、東・西日本太平洋側では、旬の前半は晴れの日が多かったが、後半は本州南岸沿いを進んだ動きの遅い低気圧の影響で天気がぐずついた。沖縄・奄美は、気圧の谷や寒気の影響を受け、曇りや雨の日が続き、17日には低気圧や前線の影響で大雨となった。沖縄・奄美の旬間日照時間は、12月中旬としては、1961年以降で最も少なくなった。

下旬：冬型の気圧配置となる日が多かったが、たびたび日本海を気圧の谷が通過した。このため、北日本と東・西日本日本海側では曇りや雪または雨の日が多

く、東・西日本太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美は、気圧の谷や寒気の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。26日から27日にかけては、低気圧が日本海と本州南岸沿いを進んだため全国的に曇りや雨となり、低気圧の通過後は西日本を中心に強い寒気が南下したため、西日本日本海側では大雪となったところもあった。

12月の気候統計

月平均気温：北日本で高く、平年を1°C以上上回った。一方、沖縄・奄美ではかなり低く、平年を1°C以上下回り、東・西日本で低かった。

月降水量：北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側は平年並だった。

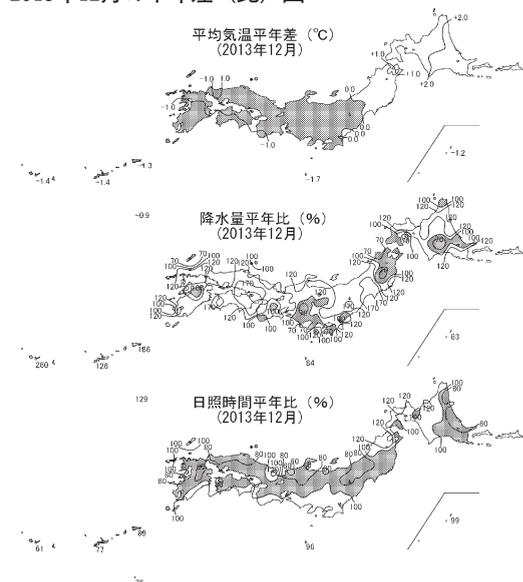
月間日照時間：沖縄・奄美ではかなり少なく、北日本太平洋側、東・西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側、東・西日本太平洋側は平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

12月の記録（1位更新のみ）

月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計、月最深積雪の1位更新はなし

2013年12月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。